

第1回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム

テーマ: 医療を担う若手研究者の育成を目指して

21世紀を迎えた今、次世代の医療薬科学の発展を担うのは、若き研究者であり、国際的にも活躍できる人材であります。本シンポジウムの開催は、若手研究者を成長させるために飛躍の一助となると同時に、日本薬学会のさらなる発展に寄与するものと期待しています。多くの方々のご参加を心よりお願い申し上げます。

実行委員長 山田 勝士

会期: 平成19年12月15日(土) ~ 12月16日(日)

会場: 日本薬学会長井記念館(東京都渋谷区)

実行委員長: 山田 勝士(鹿児島大学医学部・歯学部附属病院)

12月15日(土) 1日目

12:00 受付開始・ポスター掲示

12:50 開会挨拶

13:00 シンポジウム1

抗がん剤の有効性と安全性を求めて

【座長】 熊本大学医学部附属病院 薬剤部 濱田 哲暢
東京大学医学部附属病院 薬剤部 伊藤 晃成

【シンポジスト】

- S1-1 抗がん剤で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 池田 龍二
- S1-2 食道がん化学放射線療法における有効性・安全性と5-FU血漿中濃度との相関解析
神戸大学大学院 医学系研究科 中村 任
- S1-3 体内時計の分子機構を基盤にしたがん時間化学療法の可能性
九州大学大学院 薬学研究院 小柳 悟
- S1-4 トランスポーターと抗ガン剤の薬物間相互作用
東京大学大学院 薬学系研究科 楠原 洋之

15:20 ポスター発表

17:20 イブニングセミナー

【座長】 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 山田 勝士

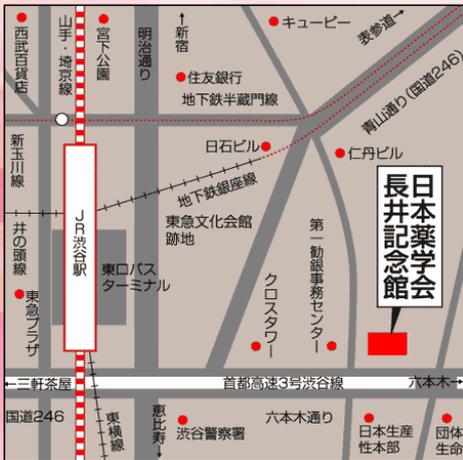
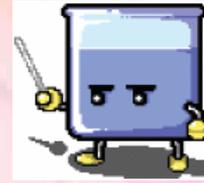
Pharmacogenomics - 現状と未来 -

九州大学大学院 薬学研究院 家入 一郎

18:30 懇親会

演題申込、参加申込は下記URLをご覧ください。

http://bukai.pharm.or.jp/bukai_iryowakate%20.htm



連絡先 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部
武田泰生, 池田龍二
Tel: 099-275-5543 Fax: 099-265-5293
E-mail: takeda@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

12月16日(日) 2日目

9:00 口頭発表

【座長】 旭川医科大学病院 薬剤部 田崎 嘉一
京都大学大学院 薬学研究科 久米 利明

10:50 口頭発表

【座長】 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 新田 淳美
東京薬科大学 薬学部 大関 健志

12:30 ランチョンセミナー

【座長】 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 高野 幹久

高脂血症治療薬の開拓 - 世界初のスタチン発見から30年の歩み

第一三株式会社 丹沢 和比古

13:50 シンポジウム2

新たな薬物治療法の開発へ向けて - 基礎から臨床へ -

【座長】 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 大河原 賢一
千葉大学大学院 薬学研究院 設楽 悦久

【シンポジスト】

- S2-1 生体リズムを基盤とした抗リウマチ薬の薬物療法
長崎大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部 藤 秀人
- S2-2 小腸及び腎薬物トランスポーターの基礎と臨床
京都大学医学部附属病院 薬剤部 寺田 智祐, 乾 賢一
- S2-3 緩和医療を主眼とした疼痛治療の基礎的研究
星薬科大学 鈴木 雅美, 成田 年, 鈴木 勉
- S2-4 サイトカイン療法による新たな心不全治療薬の可能性
兵庫医療大学 薬学部 前田 真貴子

15:50 閉会挨拶

主催: (社)日本薬学会医療薬科学部会

後援: 日本薬学会生物系薬学部会、日本医療薬学会、日本薬理学会、日本病院薬剤師会